

組踊展 関連イベント

首里城公園&おきみゅーでは、組踊の魅力を伝えるイベントも開催! ぜひご参加ください!

首里城公園

ギャラリートーク

7/6(土)・7/20(土)・8/3(土)・8/17(土)・8/31(土)

[時間]11:00、13:30(1日2回開催) [集合場所]南殿一階 [参加費]当日有効の首里城公園の入館料のみ

沖縄県立博物館・美術館(おきみゅー)

58組踊

7/12(金)

[時間]18:30~20:00
[場所]博物館
屋外展示場 民家
[参加費]1,000円

組踊コスプレ

7/14(日)

[時間]9:00~18:00
[場所]博物館講座室
[参加費]500円

8/12(月・祝)

[時間]9:00~18:00
[場所]博物館講座室
[参加費]500円

組踊かるた

8/17(土)

[時間]14:00~15:00
[場所]博物館
屋外展示場 民家
[参加費]500円

語り組踊「執心鐘入」

8/16(金)

[時間]18:00~
[場所]3F 講堂
[参加費]1,000円

県立芸大生による 琉球伝統芸能公演(組踊展Ver.) [参加費]無料(※会場が展示室の場合、当日有効の展覧会チケットが必要)

7/11(木) [時間]11:00~11:20
[場所]3F組踊展覧室内

7/26(金) [時間]18:30~19:15
[場所]正面玄関

8/3(土) [時間]11:00~11:45
[場所]正面玄関

8/4(日) [時間]11:00~11:45
[場所]正面玄関

8/12(月・祝) [時間]11:00~11:45
[場所]正面玄関

8/25(日) [時間]11:00~11:45
[場所]3F組踊展覧室内

ギャラリートーク

7/13(土)・7/21(日)・7/27(土)・8/10(土)・8/17(土)

[場所]3F組踊展覧室 [時間]11:00、13:00(1日2回開催) [参加費]当日有効の展覧会チケットが必要

沖縄県立博物館・美術館 博物館常設展示室 美術工芸部門展示室でも開催! / 組踊にちなんだ展覧会「CHOKUN & JYUNSOKU—琉球の偉人—(仮)」(公益財団法人陽明文庫蔵琉球関係資料を展示するのは8/6(火)~10/27(日)まで) 8/6(火)~12/1(日)

首里城公園管理センター

場 所

【南殿特別展示室】2019年7月5日(金)~11月7日(木)
【黄金御殿特別展示室】2019年7月5日(金)~11月14日(木)
*休場日:7/3(水)~7/4(木)

会 期

開館時間(有料区域)のご案内
【7月~9月】8:30~20:00 【10月~11月】8:30~19:00
*入場は閉館の30分前まで

料 金

一般 820円(660円) / 高校生 620円(490円) / 小・中学生 310円(250円)
*()内は20名以上の団体料金 *障がい者手帳をお持ちの方と介助者1名は無料です。

問合せ

Tel 098-886-2020 <http://oki-park.jp/shurijo/>

7~9月は20:00まで開館してます!



沖縄県立博物館・美術館(おきみゅー)

場 所

3F 博物館企画展示室・特別展示室1・2
2019年7月11日(木)~8月25日(日)9:00~18:00(金・土は20:00まで)
*入場は閉館の30分前まで
*休館日:月曜日、7/16(火)、8/13(火)。ただし7/15(月)、8/12(月)は開館。

料 金

一般 1,000円(850円) / 高校生・大学生 800円(680円) / 小・中学生 無料
*()内は前売、20名以上の団体料金 *障がい者手帳をお持ちの方と介助者1名は無料です。

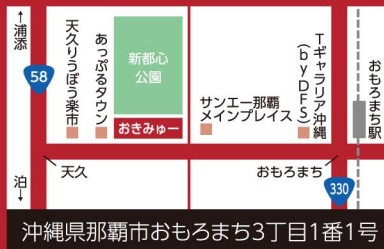
プレイガイド

●ミュージアムショップゆいむい ●コープあぶれ
●ローソンチケット(Lコード:83976) ●ジュンク堂書店那覇店

問合せ

Tel 098-941-8200 <https://okimu.jp>

金・土曜日は20:00まで開館してます!



組踊上演300周年
広げよう この感動を つなごう まだ見ぬ未来まで

EXHIBITION
THE

KUMI

ODORI

300

組踊展

300年の歴史と共に舞台を彩ってきた衣装や小道具たちがここに集結!

首里城公園

2019. 7/5(金)~11/14(木)

沖縄県立博物館・美術館(おきみゅー)

2019. 7/11(木)~8/25(日)



*夏休み期間中、両館の駐車場は大変な混雑が予想されます。ご来館の方は、公共交通機関をご利用くださいますようお願い申し上げます。

主催:一般財団法人沖縄美ら島財団、組踊上演300周年記念事業実行委員会 共催:日本放送協会沖縄放送局
後援:株式会社琉球新報社、株式会社沖縄タイムス社、琉球放送株式会社、伝統組踊保存会、沖縄県書作家協会 木筆會

組踊の歴史と拡がり

組踊初演から300年。形として残ることのない文化財を、先人達はいかにして守り、継承してきたのか。歴代冊封使にまつわる関連資料をはじめ、往時の琉球関係文化財の展示を通して、組踊の歴史をご紹介します。さらに、組踊の発展に多大な影響を与えた近現代の名優と謳われる演者たちや、今なお沖縄各地の村踊りで演じられる組踊の魅力に迫ります。沖縄の誇るユネスコ世界無形文化遺産の世界を、この節目にぜひご堪能下さい。

近世

首里城公園 南殿特別展示室・黄金御殿特別展示室

組踊誕生の背景

展示会場／南殿特別展示室

1719年、冊封使のおもてなしのために誕生した「組踊」。その舞台衣裳は当時の武将や王族・士族が使う衣服や道具の影響を受けました。南殿では舞台衣裳や小道具に影響を与えた琉球王国時代の衣裳や美術工芸品などをご紹介します。



黒漆山水楼閣螺鈿提重



首里城出土の兜の前立て

首里城各所から出土した兜の前立てです。このような兜が琉球で作られていたことから「二童敵討」の阿麻和利の舞台衣裳の兜の前立てに発展したものとされます。



江戸上り行列図

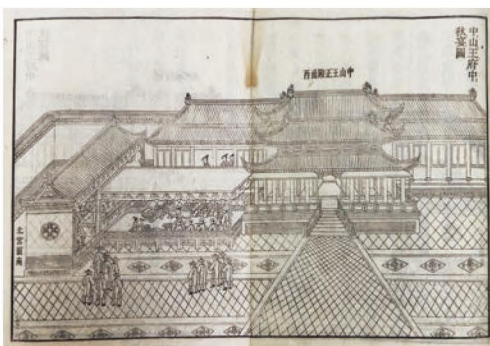
組踊を観劇した冊封使たち

展示会場／黄金御殿特別展示室

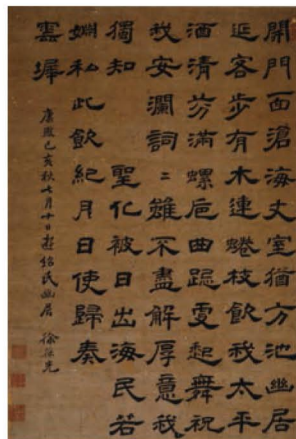
組踊を観劇した冊封使の人となりや、琉球国王との書を通じた心の交流をご紹介します。会期中、組踊初演以降の歴代冊封使の書を入れ替わり展示公開します。また往時、客人の接待に使った酒器や東道盆などの美術工芸品の展示も行います。



朱漆巴紋牡丹唐草七宝繫沈金椀



中山伝信録
中山王府中秋宴図



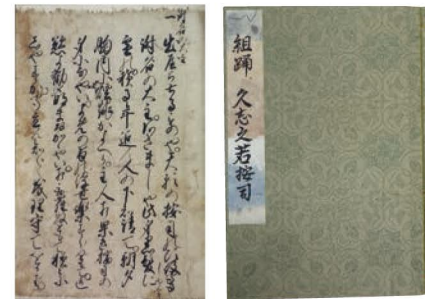
徐傑光の書

近現代

沖縄県立博物館・美術館(おきみゅー)
3F 博物館企画展示室・特別展示室1・2

村踊りに伝わる組踊

19世紀以降、組踊は村踊りの演目のひとつとして、沖縄県内各地で演じられるようになりました。首里で創作された組踊のほか、多良間村や伊江村では独自の組踊が創作され、今なお地域の人々に愛されています。島人が創り出すアットホームな組踊の世界を、実際に使用されてきた衣裳などを通してご紹介します。



組踊 久志之若按司 台本



多良間村の組踊衣裳



伊江村の組踊衣裳

現在につながる琉球芸能 ～確立した名優たち～

琉球処分や沖縄戦を乗り越え、人々の心を癒し魅了し続けた名優たちは、外交手段でもなく、奉納目的でもない、芸能そのものに存在意義を見出しました。彼らが袖を通した衣裳や使用した道具類を、それにまつわるエピソードとともに展示します。当時の状況や名優たちの物語に想いを馳せながら、組踊の歴史を味わってください。



島袋光裕



親泊興照(左)と宮城能造(右)



玉城盛義



玉城盛義 衣裳



仲嶺盛竹直筆の
工工四(楽譜)と
台本の模写



仲嶺盛竹の箏



眞境名由康の団扇



眞境名由康
万歳笠とチーグシ(杖串)

無料スペース

NHK

「沖縄の歌と踊り」展
～放送50年で伝えた伝統芸能～

歌と踊り
組踊

「沖縄の歌と踊り」は今年で放送50周年を迎えます。組踊上演300周年と重なるこの節目に、名優たちによる組踊映像を中心に、これまで伝えてきた沖縄の伝統芸能の数々をご紹介します。